

今年も、また「敬老の日」が、やってきました。この日を国民の祝日とする国が、他にあるかは知りませんが、永年社会の第一線で活躍し、現役を退いた人たちの長寿を国民こそ祝う日であり、意義深いものです。

さて、我が国は平均余命の延長と出生率の急激な低下のため、諸外国に例をみない高齢化社会を迎えようとしています。

県下においても65歳以上の高齢者は年々上昇し、30年後には、人口の四人に一人が65歳以上という超高齢化社会が到来し、その結果75歳以上の後期高齢者の増加とともに、寝たきりや痴呆性老人など介護の必要なお年寄りが増えるも

見直されて来ており、健康な歯を持つことの意義が再認識されています。人間の歯は、生後数ヶ月で萌出する乳歯と、六歳前後から生え代る永久歯によって一生を通じて咀嚼機能を司るわけです。特に永久歯は、人生80年時代と云われ

敬老の日について

鶴野 寿

なり予防効果が得られるようになってきました。

しかしながら、長寿社会を迎えるに至り、一生自分の歯で生活できるのか？ということが大きな課題となっています。歯がなくなれば「入れ歯」を入れるという安易

の予測されています。この高齢化社会にあつて、人生80年時代を「如何に」健やかに老いるかが課題であります。

健やかで幸せな生活を送るためには、健康維持上で消化機能の原点である咀嚼機能の重要性が、

ここに、こんな人が...

趣味がいろいろ

永田辰雄さん(68)

古中尾の永田さんは趣味として、生きがいとして多くのことに取り組んでいる。

絵画は独学で勉強。水彩画、墨絵、切り絵、目下油絵に熱中しているとのことである。書道は日本書道会員として多くの作品がある。盆栽は、以前四百鉢あったが、現在は七〇鉢位で松が主である。手芸、工作など手先を使



作品の前の永田辰雄さん

既に十六ヶ国をまわり見聞を広めている。旅行が大変好きで、各地とで絵にしている。

今までいろんな作品を数多く作りあげているが、部屋一杯作品で埋めつくされている。各種の作品展にも出品し、常に活動的であり続けている。

永田さんは四十才位から生きがいとして、自分の力を試すため挑戦してきた。「努力、根気」をモットーに常に考え作らやっていると語る。今後も、現在まで蓄えたものの上に、更によいものを積みあげていきたいと意欲的である。一度永田さん宅を訪れ、作品の数々をご覧ください。

あけぼの学習講座から

○「家族の役割」

過日、あけぼの学習講座で、熊大名教授の甲斐直義先生の講話を聞き、大変有益であった。

その中で、人間としての正しい理解は思いやりの気持ちが基本になる。「思いやり」とは何か。相手の人の立場に立つて、相手の人の気持ちを推測してやることである。その時、自分自身の立場を離れないといけない。家族のなかでも、他人の間でも、この気持ちを忘れたら不幸感や不満感ばかりつり、人生は暗闇になるであろう。と力説された。

短歌

宮崎 優選

台風は折れち切れたる野ボタンの
一枝残りて花の色はゆ
海近く住み古りたれば潮の香も
の飛ぶもなべてしたしき

西滋子

台風は明日来るとゆう向山の上
行く雲の流れは早し
台風の子報を聞いて日の暮れの穂
孕みそめし田をめぐり行く

野田浦子

朝顔の色とりどりに競い咲き花の
カーテン揺れるに似たり
おみ堂の屋根はみごとにふかれた
り門徒の熱き思い実のりて

白浜美和子

青春の真只中の孫達は暮さにめげ
ず今日も出て行く
切り捨てしミカンのトゲのしかえ
し草刈る指にしたか刺しぬ

柳迫いづも

亡き母の今日は三十三回忌妹と
人思出を語る

福田八重子

吾が庭に立てば子と住む家家の増
築なせる白き壁見ゆ
探しいし帽子はすでに色褪せて煙
の草生の中より出でぬ

寺本ツルヲ

山峽の墓に参れば木立より嘆くが
如くせみしぐれ降る
アジサイの園咲き満つる前に立つ

肥後狂句

秋の空 おんな心によつ似とる
秋の空 きめた縁談グメとなり
頭の痛かお金の無かアばつかりに
頭の痛かガンのうたがいあるらし

か

秋の空 男心が見えかくれ
秋の空 天気予報がまたはずれ
頭の痛か切りまでにあとわず
頭の痛かなんべん云えはわからず

と

秋の空 ひつちやけそうな熟し柿
秋の空 私を信用してはいよ
頭の痛か 内緒で買った株だけ
頭の痛か 家業は継がん一人っ子

万葉

秋の空 運動会にや降らんごつ
頭の痛か 雨がたたった不良米

七本松

〔次笠〕舌つづみ、長尻りて
一笠二句つづ、十二月十日まで
津奈木町岩城一五八八二、つな
ぎ文化センターへ投句下さい。

中学生の自主的活動が活発に

いま、津奈木中学校では、生徒の自主的活動が活発になされている。

夏休みに入る前に、生徒会から空きビン回収の計画がなされ、七月二十九日に地区毎に作業を行いました。集める場所や空きビンの引き取り先の交渉、回収車の手配まで、地区委員の方々の協力も得て、生徒によってすべてなされました。

集められた収益金はJRC(青少年赤十字)



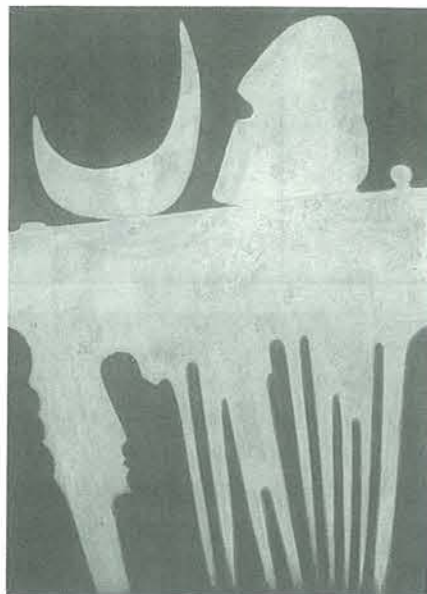
美化作業に頑張る中学生

夏休みの終わりに行われた親子美化作業や、本校の体育大会の練習においても競技種目等の練習に意欲的に取り組む姿や、汚れた用具の清掃、教室の壁ぬりを進んで行う生徒も見受けられ、一学期には三回の美化作業もなされています。津奈木中の生徒の心の中には、学校を愛する心やボランティアの心が少しずつ芽生え始め、自ら進んで、自ら学ぶ姿に近づいてきているようです。

空きビン回収や親子美化作業等地域の皆様には大変お世話になりました。皆様にはこれからも暖かい目で見守っていただきたいと思っています。(藤原棋聖記)

油彩「白い形」

1970
境野一之作



イースター島では、時がゆつくり流れてるんだらうなあ、モアイは、影をながく伸ばしながら、月をながめているんだらうなあ。
ソウガメがのっそりと闊歩する、白く、明るい夜……。

庁舎美術館 (50)

町民講座で勉強を

「学ぶ喜び、生かす楽しさ」を主題に八つの町民講座を文化センターで開講しております。

社交ダンス、書道、着物着付等は定員オーバーで締切りましたが、ちぎり絵、絵画、押花(夜)は、まだ受講申込できます。

どうぞ余暇の楽しみとして是非参加してみませんか……。

お待ちしております。



熱唱の大庭照子さん

心にしみる ふれあいコンサート

先日、地域文化ふれあい事業として、大庭照子ふれあいコンサートが文化センターで開かれた。

大庭照子さんのやさしい語りいと美しい歌声に満場の聴衆が酔い感動を覚えた。大庭さんは全国の小、中、高、養護学校などを回り音楽を通して、真心から青少年たちに健全育成を訴えておられる。



わたしはこの本を読んで、人間が始めた戦争のために、動物園ではライオン・トラ・熊・大じやなど多くの動物たちが毒を飲まされて死んでいったことを知りました。

そして、三頭の象を殺すことになり、ジャガイモに毒を入れて食べさせようとしたが、頭のいい象はその毒の入ったジャガイモを投げ捨ててしまいました。それで、次に注射をしようと考えましたが、象の皮ふは厚く針が折れて、これも失敗しました。しかたなくエサをやらせると、日に日にやせ細っていき、とうとう十三日に死んだことを知りました。

読書感想文

「かわいそうな象」を読んで

平国小6年 村上 恵美

これは、三頭の象が死んだ後、わかったのですが、たらいの大ききさもある象の胃ぶくろには、一しずくの水さえも入っていない

皆さんを迎えに行き、手をつないで出発点に集合し、一諸にお年寄の歩調に合わせてゴールまで走ったり、歩いたりしました。お年寄に優しく接している姿は、とても感動的でした。また、賞品に添えられた子ども達からの手紙も好評で帰宅後、神棚に供えられた方もあったと聞き、喜んでいました。

学校だより

平国小

優しく手を取って

十月三日に平国小学校・校区民の大運動会がありました。

今年の老友競技(七十才以上)は、違ったやり方になりました。

子ども達がテントまで老友会の